

20 July, 2011

## 日英高校生サイエンスワークショップに

### 東日本大震災被災地域の生徒たちが特別参加

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、当基金の人材育成グラントにより、今年度の日英高校生サイエンスワークショップに東日本大震災被災地域高等学校を代表して訪英参加する生徒たちの特別参加を支援いたします。取材をご希望の場合には下記の主催関係者又は問合せ先までご連絡ください。

#### 記

#### 1. 事業名: 2011 UK-Japan Young Scientist at Cambridge

(東日本大震災 被災地域高等学校特別枠参加)

2. 事業趣旨: 日英の高校生が協力をして、ケンブリッジ大学で研究する最先端科学者の指導のもとに、物理、化学、動物生態学、植物学、地震、放射能、天文学、生命医学の幅広い分野で実験、調査、討論、文化交流と科学を通じた国際交流を行う日英青少年交流事業

#### 3. 事業日程概要:

(1) 7月21日ロンドン着、同日より24日まで立教英国学院に宿泊し、ロンドン研修

(2) 7月24日より30日、ケンブリッジ大学学生寮に宿泊し、ワークショップに参加

#### 4. 被災地域高等学校からの特別枠参加について

今年のワークショップには一般応募の参加高校に加えて、東日本大震災被災地域を代表して以下の6校の特別枠が設けられました。福島県立福島高等学校、福島県立相馬高等学校、宮城県仙台第二高等学校、宮城県宮城第一高等学校、宮城県仙台二華高等学校、茨城県立日立第一高等学校より、生徒教員21名を英国に招待します。被災後の困難な状況にある中で、ワークショップに参加し、同世代の英国の高校生と共に生活し、先端研究者と科学研究に携わることにより、将来に夢と希望を持ち、被災地域の精神的復興の糧となることを願っています。

#### 5. 関係機関:

(1) 主催: クリフトン科学トラスト(Clifton Scientific Trust)

(2) 共催: ケンブリッジ大学、立教英国学院

(3) 後援: 英国化学会(Royal Society of Chemistry)

(4) 助成: 国際交流基金(ジャパンファウンデーション; The Japan Foundation)、大和日英基金、グレイトブリテン笹川財団、英国化学会、ロールス・ロイスジャパン、三菱電機ヨーロッパ、立教英国学院

(5) 協力: マリーエドワードカレッジ、コーパスクリスティーカレッジ、トリニティーカレッジ、嘉悦ケンブリッジ教育文化センター、キャベンディッシュ研究所、ケンブリッジ大学物理学部、ケンブリッジ大学化学学部、ケンブリッジ大学天文学研究所、ベイブラハム生命医学研究所、日立ケンブリッジ研究所、オックスフォード大学物理学部等

## 6. 関係者コメント:

(1)被災地域高等学校を代表して ●橋爪清成 福島県立福島高等学校教諭

①「今回の東日本大震災および原子力発電所事故により、多くの学校が被災しました。このような中、日英両国の皆様方よりのご支援により、英国で行われるケンブリッジサイエンスワークショップに参加できることとなりました。茨城県、宮城県、福島県から参加する6つの高校の生徒、引率教員を代表し、深く感謝申し上げます。

この機会は高校生にとって世界を見るための貴重なチャンスとなります。今回の震災は日本の大きな転換期になると言われておりますが、今回の参加者がグローバルな視点を身につけ、新しい日本を構築する人材となることを願ってやみません。皆さまのご支援やお気持ちをしっかり胸に刻み、ワークショップに参加することをお誓い申し上げます。」

(2)英国側主催者を代表して ●エリック・アルボーン クリフトン科学トラスト

②「We are delighted to welcome to Cambridge students and teachers from schools in Japan which have suffered so much from the effects of the March 11<sup>th</sup> tsunami and earthquake to attend the 2011 UK-Japan Young Scientist Workshop at the University of Cambridge this summer. As the result of generosity of many organisation we are able to cover all the these schools' costs in Cambridge and also their air fares from Japan. We and all the British students and teachers look forward very much to welcoming them to England as our special guests. We are sure that, by living and working together in small teams with Cambridge scientists and engineers, not only will their understanding of science deepen but also they will see their futures in a global context and form international friendships which will last for many years.”

Dr Eric Albone, Director, Clifton Scientific Trust

[albone@dial.pipex.com](mailto:albone@dial.pipex.com) (英語でのお問合せ)

●岡野 透 立教英国学院教頭

③「多くの方々の温かいご支援、ご協力により東日本大震災被災地域を代表して、上記6校の高等学校をケンブリッジ大学で行なわれます日英高校生サイエンスワークショップに招待することとなりました。地震の事後処理、原子力発電所での懸命の復旧作業、被災地域での不安な生活の様子が今もなお伝えられていますが、困難な生活の中でも次世代を担う高校生に少しでも将来への夢と希望を持ってもらえればと願っています。最先端の科学の体験、科学における対話の重要性を体験することを通して、被災地域復興、更には新たな日本の創造のための次世代のリーダー育成に大きな助けになるものと信じています。主催者としてその開催、運営に大きな責任を感じますと共に、日英両国の皆様より受けましたご支援助成に対し、深く感謝申し上げる次第です。」

[drokano@btinternet.com](mailto:drokano@btinternet.com) (日本語でのお問合せ)

<http://www.rikkyo.co.uk> ケンブリッジサイエンスワークショップ特集

## 7. 本リリースについてのお問合せ:

国際交流基金ロンドン日本文化センター(The Japan Foundation, London)

担当: 二子 登 (E-mail: [noboru.futako@jpf.org.uk](mailto:noboru.futako@jpf.org.uk) )

TEL: 020 7436 6695 / FAX: 020 7323 4888 / URL: [www.jpf.org.uk](http://www.jpf.org.uk)

以上